

主催：応用物理学会微小光学研究会

協賛：日本光学会，電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティ，オプトロニクス社，アドコム・メディア



## 第 179 回微小光学研究会

### 「偏光制御と光デバイス」

偏光は電界の振動特性を表す光波の性質であり，物質中や界面における透過・反射・屈折に影響する基本要素である。光デバイスで偏光を制御することは極めて重要であり，ディスプレイ，イメージング，光通信の多重化などで様々な対応がなされ，また偏光を応用したデバイスやシステムが実現されている。本研究会では，偏光制御のための光デバイスや新しい偏光状態の生成について第一線の研究者からレビューを頂き，偏光に関する技術と将来展望を議論する。

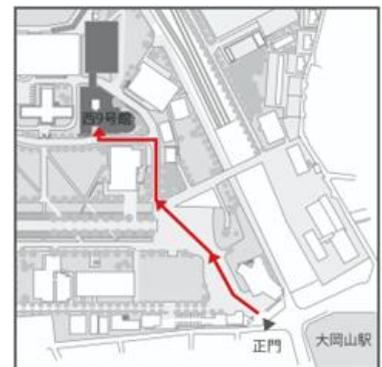
**日時：**2026年7月13日（月）13:00-17:15

**会場：**東京科学大学大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホール  
(オンライン同時開催予定)

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1

<https://www.isct.ac.jp/ja/001/access>

**交通：**東急目黒線・大井町線「大岡山」駅下車徒歩5分



#### プログラム

13:00-13:05	開会の挨拶	
13:05-13:45	【特別講演Ⅰ】偏光の基礎	大谷幸利（宇都宮大）
13:45-14:15	メタサーフェスを用いた偏光制御・検出デバイス	種村拓夫（東京大）
14:15-14:45	成形と成膜で作製できるナノ構造偏光素子	穂苅遼平（産総研）
14:45-15:15	フォトニック結晶レーザーによる空間的偏光・位相制御	北村恭子（東北大）
15:15-15:30	<休憩>	
15:30-16:10	【特別講演Ⅱ】光デバイスにおける偏光：重要な要素とその依存性が待ち受ける関門	國分泰雄（ものつくり大）
16:10-16:40	偏光変換を用いた導波路型光アイソレータ	庄司雄哉（東京科学大）
16:40-17:10	シリコンフォトニクスによる光のスキルミントポロジー制御	林文博（東京科学大）
17:10-17:15	閉会の挨拶	

参加費（消費税込，予稿集代含む）：応用物理学会会員 4,000 円，非会員 5,000 円

学生・シニアの応用物理学会会員 1,000 円，学生・シニアの非会員 2,000 円

参加申込：要事前申込。 <https://www.comemoc.com/> よりお申込ください。

（開催日の数日前に予稿集と請求書を郵送いたしますので，参加費を後日お支払いください。）

担当委員：井上（住友電気工業），岩本（東京大），庄司（東京科学大），波多腰（微小光学研究会），横森（微小光学研究会）

問合せ先：微小光学研究会事務局 office■comemoc.com（■を@に換えてください。）

微小光学研究会 代表：伊賀健一 運営委員長：波多腰玄一 実行委員長：宮本智之

副代表：中島啓幾 運営副委員長：横森清

※プログラムは微小光学研究会のウェブサイト <https://www.comemoc.com/> でもご覧いただけます。

※オンライン同時開催予定です。現地会場における聴講は先着順のため，会場の定員(100名)に達する場合はオンライン聴講となりますのでご了承ください。